

# 邑久長島大橋 開通30周年

邑久町虫明沖に浮かぶ長島には、ハンセン病の国立療養所である、長島愛生園と邑久光明園があります。その長島と、虫明の本土を結ぶ橋が「邑久長島大橋」です。

長島に橋を！

長島と本土の間には瀬溝という狭い海峡があるだけですが、なかなか橋は架かりませんでした。入所者たちの長い運動の末、ようやく橋が架けられたのです。

邑久長島大橋は、隔離を強制され、差別と偏見に苦しんできた入所者の人権と名誉を回復する意味も持ち、「人間回復の橋」と呼ばれています。全長185m、有効幅員7m、アーチ型の橋です。

たれましたが、具体的な建設方法についてはなかなかまとまりませんでした。建設費用をどこがどのように負担するのが問題となっていました。

悲願の橋、実現へ

光明園創立60周年記念式典の祝辞で、嘉数郁衛邑久町長が架橋の必要性に触れた1969（昭和44）年ごろから、邑久光明園自治会は各方面に架橋の陳情を始めています。1971（昭和46）年、岡山県議会で架橋促進の意見書が議決されました。翌年、邑久光明園と長島愛生園の入所者および両園職員が合同で「長島両園合同架橋委員会」を組織し、架橋を要望してきました。

厚生省・建設省・岡山県・邑久町などの間でも協議が持たれなかったが、具体的な建設方法についてはなかなかまとまりませんでした。建設費用をどこがどのように負担するのが問題となっていました。

そのような中、架橋の実現を約束したのは園田直厚生大臣でした。1980（昭和55）年10月、園田大臣は、両園入所者代表などの陳情に答える形で、「強制隔離を必要としない証として」架橋を実現したいと言明しました。さらに、1981（昭和56）年12月、橋本龍太郎衆議院議員から厚生省の整備費で建設することが提案され、計画は大きく動き出しました。その後、虫明地区の本土側住民への説明会が開催され、架橋計画や取り付け道路の

ルートなどが地元住民に説明されました。さらに、地元漁業協同組合なども協議が重ねられました。

橋の完成と現在

1985（昭和60）年12月に起工式が行われ、1987（昭和62）年10月に、長さ135m、重さ565トンの橋げたが架設されました。

過しましたが、ようやく悲願の橋が架かり、関係者は大きな喜びに包まれました。橋が架かってから療養所をとりまく環境は大きく変わりました。生活が便利になっただけでなく、交流が活発になりました。現在では、橋を渡って多くの人が療養所を訪れるようになり、人権学習の場としても重要な役割を果たしています。

【参考文献】

『長島は語る 後編』（岡山県）、「風と海のなか」（邑久光明園入園者自治会）、「曙の潮風」（長島愛生園入園者自治会） など

◆瀬戸内市民図書館

「せとつち発見の道」企画展「ハンセン病問題と瀬戸内市」邑久長島大橋30周年によって12月9日（日）まで開催しています。



邑久長島大橋

【ご当地ランキング】  
40位 / 506体中  
(8月8日現在)

# ゆるキャラグランプリ 2018

投票期間：8月1日～11月9日

## 30位以内を目指す セットちゃんに投票を！

### ★投票方法

右のQRコードをスマートフォンや携帯電話で読み取り、そこから、ゆるキャラグランプリの投票用ページにアクセスして投票してください。

※初回はID登録が必要です。

※1人「1日1票」投票することができます。

■ゆるキャラグランプリ公式HP <http://www.yurugp.jp/>



## 国際交流員ソフィアの冒険！



ディラード ソフィー  
(平成29年7月任用)

こんにちは、Bonjour！

国際交流員として着任してから、もう一年が経ちました。この一年は、たくさんの方と出会い、日本刀についてたくさん勉強し、さまざまなお祭りに参加するなど、新しいことと冒険に満ち溢れていました。

この一年間で取り組んだ仕事は幅広く、刀剣博物館にフランス人や英語圏の方が来られた時はガイドとして案内し、取材に来る海外メディアの対応もしました。

また、10月には、欧州3か国（イギリス、イタリア、スペイン）で開催されるイベントで日本刀の製作工程をテーマに講演を行います。今は、講演に向けての

準備で大忙しですが、海外の方に日本刀の良さを知ってもらうため頑張っています。

そして、次の一年間で取り組みたいこともたくさんあります。

まずは、図書館や学校でフランス文化を中心としたイベントを開催することです。市民の皆さんにフランス文化の多様性を紹介したいと思っています。

次に、市内に住む外国人と英語が話せる日本人で立ち上げた「瀬戸内市国際プロジェクト」という協会のメンバーと一緒に「Visit Setouchi」(「ジット瀬戸内」という外国人旅行者向けのウェブサイトを作成することです。市内観光地へのアクセスなどを分かりやすくすることで、もっとたくさんの外国人旅行者に瀬戸内市を訪れてもらいたいです。

新しい一年間とても忙しくなりますが、気合いを入れて頑張ります！